

招 へ い 研 究 者 報 告 書

招へい研究者氏名	仁川大学 (韓国) 梁峻豪 教授			
招 へ い 期 間	(西暦) 2024 年 7 月 16 日 ~ 2024 年 7 月 29 日			
受 入 機 関	関西大学社会学部			
受 入 担 当 者	所 属	社会学部	資 格	教授
	氏 名	小川一仁		
<p>講演会実績 (本欄は国際部 HP にて公開します)</p> <p>○<u>研究者向け</u>講演会タイトル:「世界各地のオルタナティブ・ファイナンス:金融包摂と社会革新のための銀行」 ○日時:7月24日 17:00-18:00 ○概要:「世界各地のオルタナティブ・ファイナンス:金融包摂と社会革新のための銀行」と題した講演を研究者向けに行った。参加研究者は4名と少なかったが、地域の経済をバランスよく成長させるための手段について濃密な議論を交わすことができた。タイトルは同じであったが、17日に開催された学部講演会よりも経済理論に即した議論を行うことができ、金融を上手く使うことの重要性について共通認識ができたことは有意義だった。</p> <p>○<u>学生向け</u>講演会タイトル:「世界各地のオルタナティブ・ファイナンス:金融包摂と社会革新のための銀行」 ○日時:7月17日 10:40-12:10 ○概要:社会学部専攻横断型講義最終回にて上記講演会を開催した。下記が講演概要である。講演会参加者はおおよそ400名であった。講義後の質疑応答も活発であった。</p> <p>概要 利潤追求ではなく「社会問題を解決すること」を目的とする、独特で面白い銀行がある。アメリカには地域(都市)のアフォーダブル・ハウジング(手ごろな価格で手に入る、もしくは住み続けられる住宅、適正価格の住宅を供給する取り組み)を建てるプロジェクトのみにお金を貸す銀行がある。オランダには環境にやさしいビジネスや環境問題を解決しようとするソーシャル・エンタープライズのみ投資をする銀行がある。イギリスにはそのようなソーシャル・エンタープライズを創業しようとする青年だけにお金を貸す銀行がある。そして、日本にも地域で再生エネルギーに関わるプロジェクトのみ投資する銀行がある。このような銀行を「オルタナティブ・ファイナンス」または「ソーシャル・ファイナンス」という。本公演では世界各地における「新しい事実」としてのオルタナティブ・ファイナンス(ソーシャル・ファイナンス)の現状を紹介し、それが商業銀行とどう違うか、それを持続可能にする原動力とは何かを理解する。そしてオルタナティブ・ファイナンスという現象から「金融による社会革新」の可能性について一緒に考えたい。</p>				

様式 4 (招へい研究者)